

評価の観点		A	B	C	D	話し合った改善案
(1) 個別最適な学びと協働的な学びの充実に努め、だれ一人置き去りにしない学校	◆児童が落ち着いて安心して過ごせる生活環境を作る ・児童に自分の良さや他者の良さがわかるような活動や場面の工夫 ・児童の気が散るものを、教室の前面に置かない。 (動くもの、光るもの、音がするものなど) ・整理整頓を心がける。清掃の徹底。 (服務事故防止にもつながる) 靴箱の整頓。床に物が落ちていない。 ・ケガやトラブルがあったときには、児童が帰宅する前に保護者に連絡(管理職にも確実に連絡) ・学期に1度以上、ミニミニ面談等を実施し、児童と担任が1対1で話ができる機会を設ける。 ・不登校児童や登校を渋りがちな児童の学びの保証に努める。 (タブレット、放課後登校など)	12	26	0	0	・清掃について、時程は現状のままで行いが、全員が給食を食べ終わり次第、清掃に取りかかるようにする等、弾力的に清掃時間を確保する。
	◆主体的に学ぶ(活動する)児童を目指す ・キャリア教育の推進(なりたい自分になる) ・ICTの積極的な活用。保護者への周知。 ・学年内、又は学年をまたいでの交換授業や合同授業を積極的に行う。 ・ゲストティーチャーを招き、専門性を生かした授業作りを行う。(本物に触れさせる) ・学習ルールの定着(チャイムで始まる チャイムで終わる 話の聞き方 など) ・学校図書館の活用	16	22	0	0	・学習スタンダードについて児童に話す際や学年集会等を通して、話を聞くときの姿勢を引き続き指導する。 ・ワールドルームでは椅子のみで授業をするため、どうしても姿勢の乱れが目立つ。児童の実態に応じて、移動式ホワイトボードを使って各教室で授業する等の工夫を講じていく。
	◆共生社会の実現に向けた活動の推進及び、多様な学び・多様なものの見方を醸成する ・教師自ら人権感覚を磨く(何気ない言葉に気を付ける) ・ユニバーサルデザインを常に意識する(視覚に訴える教材の工夫、板書の工夫 など) ・インクルーシブ教育の推進 ・様々な事情を抱えた児童を取り残すことなく工夫を凝らす。 (感覚過敏 登校しぶり など)	13	24	1	0	・共同学習については、今年度は記録に重点をあててきた。今後は、特別支援学級の児童が交流学級で学習をするねらいや、具体的な支援方法について、交流学級担任と特別支援学級担任間で確実に共有する。
(2) 教職員のチーム力を高め、子供・保護者・地域から信頼される学校	◆常に組織を意識して教育活動を行う ・学年、チームでの対応(一人で対応しない 斜めの関係をうまく使う) 学年主任同士の連携 生活指導主任やSCの活用 必要な情報必要な人が共有する すき間を埋める力 ・管理職への報告・連絡・相談・確認の徹底(学校の信頼に大きく影響します)	22	16	0	0	
	◆安全・安心な学校を目指す ・初期対応を丁寧に(後になるほど大きなエネルギーが必要) ・安全点検、安全指導の徹底。命の大切さ。(避難訓練は100点でなければならない!) ・安全第一 学校事故防止(複数の目で確認 ダブルチェック) ・対応の3原則(笑顔、誠意、スピード) 共感的 傾聴の姿勢 相手の筋で話を聞く 相手の期待の少し上を目標に ・Q-Uテストの活用 学級での居心地を高めるための方策 要支援群の児童への対応	26	12	0	0	
	◆開かれた学校づくりを推進する ・学校HPの充実。積極的な更新(一人一人が学校の広告塔の自覚) ・学校便り、学年便りの充実。お知らせだけでなく、考えや具体的な子どもの様子の発信 ・保護者、地域を巻き込んだ教育活動	20	18	0	0	・チラシの配布物が多い為、取捨選択して児童に配布する。お便りのデータ化は可能だが、忘れ物等が増える可能性が高くなるため、現状維持とする。

<p>(3) ICTを効果的に活用し、探究的な学びを追究する学校</p>	<p>◆GIGAスクールの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用が目的ではなく、あくまでも手段として活用 ・ネットリテラシーについても指導する ・保護者の理解、協力を仰ぐための努力 ・タブレット活用の心得の徹底 	14	23	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員に、年度初めの児童登録や修理依頼、ICT環境整備はお願いできるようにする。
	<p>◆せたがや探究的な学びの追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けたICTの活用 ・学年や専科との連携を密に。情報の共有 ・専門性を高めるための努力、研修 ・校内での積極的、自主的な教員研修 	14	24	0	0	
<p>(4) 子どもの健康・体力向上に努める学校</p>	<p>◆健康・体力に関心をもたせる教育を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策（手洗い 三密の回避 など） ・体育授業の充実（系統性 積み重ねの重要性） ・健康観察の徹底 ・外遊びの奨励 	20	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に関わる内容を週目標に組み込むなどして、外遊び、長縄、長距離走等、体力向上の取組を奨励していく。
<p>(5) 地域と共に子どもを育てる学校</p>	<p>◆商店街の中にある立地や、歴史ある本校の背景を、効果的に活用する教育を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用 ・外部機関との連携 ・豊かな体験活動 	18	20	0	0	